かんわケア Press
2023年 3月 vol.33
たたらリハビリテーション病院 緩和ケア病棟 広報誌

日本医療機能評価機構 認定病院
ISO 9001 BUREAU VERITAS Certification

日本緩和医療学会認定研修施設
在宅療養支援病院
発行:たたらリハビリテーション病院 緩和ケア病棟
〒813-0031 福岡市東区八田1-4-66 tel:(092)691-5508(代表)
http://www.tatara-reha.jp

2022年度 緩和ケア病棟 クリスマス会を行いました!

12月初旬、クリスマス会を開催いたしました。aiboのダンス、医師によるマジックショー、看護師による書道パフォーマンス、リハビリによる体操、最後にサンタクロースに扮した平田医師から患者さん全員へプレゼントが渡され、お部屋で休まれていた患者さんにも届けられました。

書道パフォーマンス後、患者さんとスタッフでパステルアートで色付けをしました。とても素敵に出来上がった作品は、病棟のホールに飾ってあります。

書道パフォーマンスで出来上がった作品

手品タイムの様子

平田センター長と
aiboの「ななちゃん」
サンタも大活躍!

ほかにも、ななちゃんダンスやリズム体操などをして楽しい時間を過ごしました♪

当院の
取り組み

コロナ禍とケアの質

緩和ケアセンター長・平田 済

2020年より始まった新型コロナウイルス感染症のまん延で、緩和ケア病棟のケアも随分と様変わりしました。もちろんさまざまな制約の中でも**スタッフたちは、患者さんやご家族にとって少しでも良い時間が過ごせるようにと工夫**をしています。

クリスマス会は、ご家族のご参加は制限をお願いしましたが、2021年、2022年と連続で開催することができました。音楽療法士の先生（週1回の非常勤）が来てくださって、患者さんのお部屋を訪れ、グループセッションも継続しました。スイーツバイキング、茶話会、パステルアートなども小規模ながら行ってきました。これらは、**部屋に閉じこもりがちな患者さんにとって貴重な時間**となったように思います。そのような感想もたくさんいただきました。

これまでもご家族の面会は、止めたことはなかったものの、大幅に制限せざるを得ず、オンライン面会は対面での面会には遠く及びません。日本ホスピス緩和ケア協会のアンケートでは、緩和ケア病棟の7割を超える施設が、コロナ禍でケアの質が下がったと回答しています。

2023年5月から新型コロナウイルス感染症は5類になるということです。世間一般では、マスク装着の可否も含め、感染防御の意識が緩みつつありますが、医療機関は難しい立場になるのではと危惧しています。クラスターになりやすい状況が生まれたり、患者さんや職員の間で感染が広まることを避けなければならない状況は変わらないためです。

これからも、**より良いケアの質を保つために、患者さんとご家族、患者さんと社会をつなぐケアを重視**して工夫を積み重ねていきたいと思っています。